

令和8年度 評価規準

教科： 国語

学年： 第1学年

学校名： 江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
朝のリレー	2	音声の働きや仕組みについて理解を深め、声の強弱や間の取り方、言葉の調子等、工夫しながら音読する。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。((1)ア)		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
言葉に出会うために 声を届ける 野原はうたう	3	情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫して読む。	音声の働きや仕組みについて、理解を深め、聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。((1)ア)		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
はじまりの風	4	・場面ごとの心情の変化を、図を用いて整理する。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を捉える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
言葉1 音声の仕組み働き	1	母音と子音、音の高さや強さについて理解する。	日本語の音声が母音と子音で構成されることや、アクセント・イントネーションによって意味や調子が変わることなどについて、理解を深めている。((1)ア)		声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。
[書写]漢字を分解してみよう	1	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。((3)エ(ア)、(1)イ)		進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。
[聞く] 情報を聞き取り、要点を伝える	1	・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決める。 ・集めた材料を整理し、要点を正しく伝える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。

話の構成を工夫しよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫する。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する。 	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。(1)ア)	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
ダイコンは大きな根？	4	<ul style="list-style-type: none"> ・比較がどんな場面で使われるかを確かめる。 ・段落の役割に着目して、文章の内容をとらえる。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) →本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。
漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	2	部首の種類などの理解を深める。国語辞典や漢和辞典を活用して練習問題を解く。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
[書写]漢字の筆使い「天地」	2	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書く。	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]		進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って「天地」を書こうとしている。
ちょっと立ち止まって	4	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と事例との関係を整理する。 ・文章の構成に着目し、要旨をとらえる。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。

<p>情報を整理して説明しよう</p>	<p>2</p>	<p>比較や分類、関係づなどの情報の整理のしかたについて理解を深める。</p>	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p>	<p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。</p>
<p>空の詩 三編 [書く] 詩の創作教室</p>	<p>4</p>	<p>・詩の言葉を読み味わい、語感をみがく。 ・詩の情景を想像し、表現の効果について考える。</p>	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)</p>	<p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p>
<p>言葉2 指示する語句と接続する語句</p>	<p>1</p>	<p>指示する語句、接続する語句の働きを整理し、文章の展開や構成をつかむ手がかりになることを理解する。</p>	<p>指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) 一例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。</p>		<p>今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。</p>

[書写]楷書に調和する仮名	2	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。。[知技(3)ア、エ(ア)]		積極的 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。
比喩で広がる言葉の世界	2	・比喩について理解し、生活への生かし方を考える。 ・文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える。	比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
情報収集の達人になろう	3	情報の読み取りと整理のしかたを理解し、自分の意見をまとめる。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。
読書を楽しむ	2	読書の楽しさに気づき、読書の幅を広げる。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。

言葉3 さまざまな表現技法	1	さまざまな表現技法の特徴とその効果を理解し、自分の表現の工夫に生かす。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ)		比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。
[書写]文字の大きさと配列	2	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。[知技(3)ア、エ(ア)、(1)イ]		進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。
大人になれなかった弟たちに… …	4	・本や資料を読み、登場人物が置かれた状況を知る。 ・登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉える。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。
星の花が降るころに	5	・場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理する。 ・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈する。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ)	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
項目を立てて書こう 案内文を書く	3	内容や相手に応じて情報を整理し、必要な情報が明確に伝わるように案内文を書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	1	文法の定義とその必要性、言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解している。((1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。

[書写]行書の特徴	2	楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解する。	楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解している。[知技(3)エ (ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]		積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見直しをもって楷書と行書の違いや行書の筆使いの特徴を見つけようとしている。
聞き上手になろう 質問で話を引き出す	3	聞き方や質問のしかたを工夫して話の内容を捉える。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見直しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	6	レポートの課題を決め、集めた情報を整理しながら図表などを引用してレポートを書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、根拠を明確にしながらか、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点などを見いだしている。(B(1)オ)	根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。
言葉4 方言と共通語	1	共通語と方言のそれぞれの役割や活用場面について考える。	共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。

[書写]行書スイッチを入れよう	2	漢字の行書の特徴を理解する。	漢字の行書の点画や筆順の特徴を理解している。[知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]		積極的に行書の点画や筆順の特徴を考え、学習課題に沿って速く整えて書くための行書の特徴を押さえようとしている。
古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	3	・繰り返し声に出して読み、古文の言葉の響きや調子に慣れる。	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア		古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見直しをもって、古典の世界に親しもうとしている。
蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	7	・仮名遣いに注意しながら音読して古典のリズムを味わい、その世界に親しむ。 ・作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →音読に必要な文語のきまりや、古典特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ)	進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。
今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう	5	・漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
[書写]点画の変化	2	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]		進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って「大木」を書こうとしている。

<p>「不便」の価値を見つめ直す [書く] 筆者の主張に対する自分の意見を書こう</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を選び、結び付けて要約する。 目的に応じて文章を要約し、筆者の主張に対して自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 	<p>必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
<p>[話し合い(進行)] 進め方について考えよう 話題や展開を捉えて話し合おう —グループで語り合い、ものの見方を広げる</p>	5	<p>よりよい話し合いにするための効果的な工夫について話し合い、考えをまとめる。</p>	<p>意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p>	<p>進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。</p>
<p>漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2 漢字に親しもう3 漢字に親しもう4</p>	2	<p>漢字の「音」と「訓」の歴史や性質について理解する。</p>	<p>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p>		<p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>[書写]点画の連続</p>	2	<p>漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。</p>	<p>漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]</p>		<p>進んで行書の書き方(点画の連続)を理解し、学習課題に沿って「日光」を書こうとしている。</p>
<p>少年の日の思い出</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味に注目し、その語句が選 	<p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 	<p>文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</p>

文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	3	文節同士の関係について理解し、連	単語の類別について理解している。 ((1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に 単語の類別の前提となる文の組み 立てについて理解しようとしている。
[書写]書初め	2	楷書と行書の筆使いや、文字の形の	今までに学習した知識・技能を生か して書いている。[知技(3)ア、エ(ア)・ (イ)、(1)イ]		積極的に習得した知識・技能を振り 返り、今までの学習を生かし、季節の 言葉をなぞろうとしている。
二十歳になった日	4	・心情を表す語句や表現に着目して読	事象や行為、心情を表す語句の量を 増すとともに、語句の辞書的な意味 と文脈上の意味との関係に注意して 話や文章の中で使うことを通して、語 感を磨き語彙を豊かにしている。((1) ウ)	「読むこと」において、文章の構成や 展開、表現の効果について、根拠を 明確にして考えている。(C(1)エ)	進んで心情を表す表現とその効果に ついて考え、学習したことを生かして 筆者のものの見方を捉え、随筆を読 み味わおうとしている。
構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4	随筆の題材を選び、材料を基に構成	事象や行為、心情を表す語句の量を 増すとともに、語句の辞書的な意味 と文脈上の意味との関係に注意して 話や文章の中で使うことを通して、語 感を磨き語彙を豊かにしている。((1) ウ)	・「書くこと」において、書く内容の中 心が明確になるように、段落の役割 などを意識して文章の構成や展開を 考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確に しながら、自分の考えが伝わる文章 になるように工夫している。(B(1)ウ)	粘り強く文章の構成や展開を考え、 学習の見通しをもって随筆を書こうと している。
文法への扉3 単語の性質を見つけよう 文法3 単語の分類	1	単語が自立語と付属語に分けられる	単語の類別について理解している。 ((1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に 単語の類別について理解しようとし ている。
[書写]硬筆 季節のしおり	2	今までに学習した知識・技能を生かし	今までに学習した知識・技能を生か して書いている。[知技(3)ア、エ(ア)・ (イ)、(1)イ]		積極的に習得した知識・技能を振り 返り、今までの学習を生かして季節 の言葉をなぞろうとしている。
一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	3	一年間の学習を振り返り、話の構成を	比較や分類、関係づけなどの情報の 整理のしかた、引用のしかたや出典 の示し方について理解を深め、それ らを使っている。((2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、相手 の反応を踏まえながら、自分の考え がわかりやすく伝わるように表現を 工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に 応じて、日常生活の中から題材を決 め、集めた材料を整理し、伝えたいこ とを明確にしている。(B(1)ア)	集めた材料を積極的に整理し、今ま での学習を生かして要点を資料にま とめ、発表しようとしている。

ぼくが ここに	2	・詩に使われている表現技法と、その	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
漢字3 漢字の成り立ち	1	漢字の成り立ちについて理解する。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。
[書写]硬筆	1	今までに学習した知識・技能を生かし	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。[知技(3)ア、エ(ア)・(イ)、(1)イ]		積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。

令和8年度 評価規準

教科： 国語

学年： 第2学年

学校名： 江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見えないだけ	1	<p>◎語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>□語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>→詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由とともにまとめている。</p>		<p>□進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
アイスプラネット	4	<p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)</p> <p>→登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p>	<p>○登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>

<p>[聞く]意見を聞き、整理して検討する</p>	<p>1</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p>	<p>○進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。</p>
<p>書写 ①読みやすく速く書くための行書 1 点画の省略「積雲」</p>	<p>2</p>	<p>○漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ]</p>	<p>○漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書いている。</p>	<p>○毛筆で「積雲」を書きなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。</p>	<p>○進んで①行書の書き方(点画の省略)を理解し③、学習課題に沿って②「積雲」を書こうとしている④。</p>
<p>文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語</p>	<p>2</p>	<p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)</p>		<p>○学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。</p>

<p>魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする</p>	<p>5</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ) ◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 ◎相手が自ら行動したいと思えるような言葉や表現を用いることを意識している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>○自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>
<p>枕草子</p>	<p>3</p>	<p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</p>

<p>書写 ① 読みやすく速く書くための行書 2 筆順の変化「紅花」</p>	2	<p>◎漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ]</p>	<p>○漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書いている。</p>	<p>○毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。</p>	<p>○進んで(①)行書の書き方(筆順の変化)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「紅花」を書こうとしている(④)。</p>
<p>クマゼミ増加の原因を探る</p>	4	<p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ)</p>	<p>○積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p>
<p>情報整理のレッスン 思考の視覚化</p>	1	<p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>		<p>○積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>

<p>情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る</p>	<p>5</p>	<p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>○多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見直しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>
<p>漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2</p>	<p>1</p>	<p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p>		<p>○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>

<p>短歌に親しむ 言葉の力</p>	<p>7</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ○「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ○「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○表現の効果について進んで考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。</p>
<p>言葉1 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉</p>	<p>2</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p>		<p>○今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。</p>

<p>メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる</p>	<p>2</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)</p>	<p>○複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。</p>
<p>読書に親しむ 翻訳作品を読み比べよう</p>	<p>2</p>	<p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>○表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。</p>

ヒューマンノイド	4	<p>◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	◎話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ)	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	◎登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
字のない葉書	3	<p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	◎文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
<p>書写</p> <p>①読みやすく速く書くための行書</p> <p>3 行書に調和する仮名(いろは歌)</p>	3	◎行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ア、ウ(ア)]	○行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	○小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。	◎進んで①行書に調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。

<p>表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く ○[推敲]表現の効果を考える ○言葉2 敬語</p>	<p>5</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)</p>	<p>○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。</p>
<p>聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3</p>	<p>3</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p>	<p>○論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。 ○積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>

<p>モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン1 根拠の吟味</p>	<p>6</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の構成や論理の展開について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>○論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
<p>適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く</p>	<p>5</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○粘り強く根拠の適切さを考e、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>
<p>書写 ①読みやすく速く書くための行書 4 行書と仮名の調和</p>	<p>1</p>	<p>◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ、A(1)オ、(2)イ]</p>	<p>○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p>	<p>○毛筆で「豊かな森」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。</p>	<p>○進んで①行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「豊かな森」を書こうとしている④。</p>

<p>聴きひたる 月夜の浜辺</p>	<p>1</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p>		<p>○進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。</p>
<p>扇の的一『平家物語』</p>	<p>7</p>	<p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)</p>	<p>○登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>

<p>仁和寺にある法師—『徒然草』より</p>	<p>3</p>	<p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)</p>	<p>○積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</p>
<p>漢詩の風景</p>	<p>3</p>	<p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)</p>	<p>○進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>

<p>君は「最後の晩餐」を知っているか 思考のレッスン2</p>	<p>6</p>	<p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>○進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
<p>書写 ②文字を使い分ける 1 楷書と行書の使い分け</p>	<p>1</p>	<p>◎目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くことができる。[知技(3)ウ(イ)、(1)ウ、A(1)オ、(2)イ]</p>	<p>○目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。</p>	<p>○場面を選んで自分の名前を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。</p>	<p>○進んで①書体を選択して書く必要性を理解し③、学習課題に沿って②適切な書体を選んで書こうとしている④。</p>
<p>書写 ②文字を使い分ける 2 [国語・学校生活]行書を活用しよう</p>	<p>2</p>	<p>◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)・(イ)、(1)ウ、B(1)全]</p>	<p>○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p>	<p>○行書で応援旗やめくりなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②応援旗やめくりなどを書こうとしている④。</p>
<p>立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる ○[話し合い(進行)] 話し合いの流れを整理しよう</p>	<p>6</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)</p>	<p>○進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>

<p>文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2 用言の活用 ○漢字に親しもう4</p>	<p>3</p>	<p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>		<p>○今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。</p>
<p>「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば／ 六千回のトライの先に 読書案内 本の世界を広げよう</p>	<p>1</p>	<p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>書写 ②文字を使い分ける [コラム]全国フォント見つけ隊</p>	<p>2</p>	<p>◎全国にはその地域に関係したさまざまなフォントがあることを理解し、身近な文字への関心を高めることができる。 [知技(3)ウ(イ)、A(1)オ、(2)イ]</p>	<p>○全国にはその地域に関係したさまざまなフォントがあることを理解している。</p>		<p>○進んで① 全国にはさまざまなフォントがあることを理解し③、学習の見通しをもって②、写真の街並みに合うフォントを選んだり、理解したことや感じたことを交流したりしようとしている④。</p>
<p>書写 ②文字を使い分ける [国語]季節のしおり②</p>	<p>3</p>	<p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、ウ(ア)、(1)ウ]</p>	<p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。</p>

<p>走れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう 漢字に親しもう5</p>	<p>8</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にjして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>◎登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。</p>
<p>描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書こう 言葉3 話し言葉と書き言葉 文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語 漢字3 送り仮名</p>	<p>8</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にjして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ)</p>	<p>○「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>◎粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ◎今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴、付属語について理解しようとしている。</p>

<p>国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る</p>	<p>3</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) ○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>○粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。</p>
<p>書写 書き初めを書く</p>	<p>4</p>	<p>○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。</p>	<p>○行書の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。</p>	<p>○紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。</p>	<p>○自己の課題をもって取り組んでいる。</p>
<p>鍵</p>	<p>2</p>	<p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p>	<p>○「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	<p>○詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。</p>

<p>国語の力試し</p>	<p>3</p>	<p>◎類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解することができる。(知・技(1)エ) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。((1)エ) ○敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ○「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>○今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>
---------------	----------	--	---	--	---

令和8年度 評価規準

教科： 国語

学年： 第3学年

学校名： 江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界はうつくしいと	1	●詩の特徴を生かして朗読する。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで語感を磨き、友達の考えやこれまでの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
握手	4	●抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 ●作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて物堅いの展開のしかたなどを捉えている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。	物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
意見を聞き、適切さを判断する	1	●立場によって多様な考え方があることを前提に、その適切さを判断する。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
文法への扉1「走って」いるのは誰？	2	●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	3	●情報の信頼性を確かめる。 ●聞き手を説得できるように話の構成を考え、場の状況に応じて自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	1	●相手との間柄や、公私の別を踏まえて、その場にふさわしい言葉遣いを選ぶ。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。		相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
学びて時に之を習ふ—「論語」から	3	●歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ●人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連づけて考える。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一説を引用するなどして使っている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。

作られた「物語」を超えて	3	●論理の展開における、具体と抽象の関係を捉える。 ●論説の特性を踏まえて読み、論理の展開のしかたを捉える。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン 具体化・抽象化	1	●具体と抽象の関係に注意して、文章を読んだり書いたりする。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。
論理の展開を意識して書こう/グラフを基に小論文を書く	4	●課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を意識して、小論文を書く。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →課題に沿って資料を読み解き、読み取った事実と、自分の解釈や考えを整理して書き出している。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書くようとしている。
漢字1 熟語の読み方	1	●熟語のそれぞれの字の音と、組み合わせ方について理解する。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
俳句の可能性/俳句の創作教室/俳句を味わう	4	●俳句を朗読し、筆者の評価のしかたを捉える。 ●好きな俳句を選び、鑑賞文を書く。 ●表現のしかたを工夫して、俳句を作る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。 「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。	進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
言葉の釣り糸を垂らす	2	●全文を通読し、「言葉の釣り糸を垂らす」という題名の意味を捉える。 ●筆者のものの見方や考え方について考え、話し合う。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
言葉2 和語・漢語・外来語/語彙を豊かに/時代や世代による言葉の変化	1	●和語・漢語・外来語や、時代や世代による言葉の変化について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分ける。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。

<p>実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●実用的な文章から情報を読み取り、実生活に生かすにはどうすればよいかを考える。 ●新聞記事を比較して読み、考えたことについて文章にまとめる。 	<p>話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>文章の種類を踏まえて、積極的に情報を読み取り、学習課題に沿って実生活への生かし方を考えようとしている。 文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>情報整理のレッスン/情報の信頼性</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の信頼性を確かめる方法を理解し、活用する。 	<p>情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p>		<p>積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。</p>
<p>読書を楽しむ/「私の一冊」を探しにいこう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●読書活動を通して、さまざまな読書の楽しみ方や意義を発見する。 ●さまざまな本の探し方を知り、興味をもてそうな本を探す。 	<p>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見直しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。 進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。</p>
<p>挨拶——原爆の写真によせて</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●象徴的な表現に着目して、詩に描かれたものを捉える。 ●詩の表現の効果を評価し、詩のメッセージに対する自分の意見を述べる。 	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>故郷</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全文を通読し、気づきや疑問などを交流する。 ●登場人物どうしの関係を捉えるとともに、全体を場面に分ける。 ●回想の場面と現在の場面とを比べ、登場人物の描写の変化を捉える。 ●「私」が感じた「悲しむべき厚い壁」や「希望」について考える。 ●この作品のもつ特性や価値について批評するとともに、学習を振り返る。 	<p>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。</p>

[推敲]論理の展開を整える	2	<ul style="list-style-type: none"> ●目的や読み手に応じて、表現や論理の展開の観点から、意見文を推敲する。 ●書き改めた意見文を友達と読み合い、自分の文章のよい点や改善点を見出す。 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。
言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	1	<ul style="list-style-type: none"> ●慣用句やことわざ、故事成語について理解を深め、語句の意味を調べたり、語句を用いて短文を作ったりする。 	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。		慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1	<ul style="list-style-type: none"> ●話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出しながら対談を行う。 	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。	話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
漢字2 漢字の造語力	1	<ul style="list-style-type: none"> ●話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出しながら対談を行う。 	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
複数の意見を読んで、考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	<ul style="list-style-type: none"> ●三人の筆者の提言を通読し、それぞれの要旨をまとめる。 ●観点を決めて三つの文章を比較して評価する。 ●提言に対する評価を基にグループで討論し、自分の考えを文章にまとめる。 	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。	三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。

<p>考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の見通しをもち、関心のある事柄から批評文の題材を選ぶ。 ●批評文の対象となる広告などについて、観点を決めて分析し、批評文の構成を考える。 ●分析や構成メモを基に批評文を書く。 ●分析や構成メモを基に、表現のしかたを粘り強く工夫して批評文を書く。 ●批評文を友達と読み合い、助言し合うことを通して、批評文の書き方について考える。 	<p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p>	<p>「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	<p>自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。</p>
<p>文法への扉2 「ない」の違いがわからない？</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校三年間で学習した文法についての考え方、知識を整理する。 	<p>単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解している。</p>		<p>単語の類別や活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>聴きひたる 初恋</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、語彙を豊かにし語感を磨く。 	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		<p>進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。</p>
<p>和歌の世界/音読を楽しむ/古今和歌集 仮名序</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●語句の使い方や表現の効果に注意しながら「古今和歌集仮名序」を声に出して読み、古典の世界に親しむ。 	<p>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p>		<p>進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
<p>君待つと——万葉・古今・新古今</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●和歌を音読し、表現の特徴や和歌に詠まれた古人の心情や情景について話し合う。 	<p>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p>	<p>「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。</p>	<p>進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。</p>
<p>夏草—「おくのほそ道」から</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●芭蕉の思いを想像しながら、原文を声に出して読む。 ●芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 ●心に響く俳句について発表する。 	<p>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p>	<p>作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表しようとしている。</p>
<p>つながる古典/古典名作選/[書く] 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●古典作品のつながりや名作を知り、味わうとともに、古典の言葉を引用してメッセージを贈る。 	<p>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p>	<p>「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p>	<p>長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かしてメッセージを書こうとしている。</p>

それでも、言葉を	4	<ul style="list-style-type: none"> ●全文を通読し、言葉に対する筆者の考えについて理解を深めるための課題を決める。 ●言葉に対する筆者の見方・考え方についての理解を深め、課題に対する意見をもつ。 ●グループごとに考えを聞き合い、筆者の見方・考え方について理解を深める。 ●言葉についての自分の考えをまとめて発表し、互いの気づきや考えに学び合う。 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。
漢字3 漢字のまとめ/漢字に親しもう4	1	<ul style="list-style-type: none"> ●三年間で学んだ漢字について練習問題を解く。 	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
[話し合い(進行)]/話し合いを効果的に進めよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的に話し合いを進めるために必要な工夫を学ぶ。 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
合意形成に向けて話し合おう/課題解決のために会議を開く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●合意形成の重要性を知り、話し合うための議題を決める。 ●グループでブレインストーミングを行い、提案を考える。 ●全体会議で、グループごとに提案を発表し、それらを分類・整理する。 ●全体会議を開き、観点を決めて、提案を検討・整理する。 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
本は世界への扉/天、共に在り/極夜行/読書案内 本の世界を広げよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ●ノンフィクションを読み、考えたことを話し合ったり文章にまとめたりして、本の世界を広げる。 	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、読んだ本や興味をもった本について語り合おうとしている。
温かいスープ	2	<ul style="list-style-type: none"> ●全文通読し、作品の設定や内容を捉える。 ●筆者の考え方を踏まえて、国際社会における人と人との関係について考えをまとめる。 	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
アラスカとの出会い	2	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の生き方や考え方を読み取る。 ●筆者の考えを踏まえて、自分の生き方を考える。 	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。

律儀な桜	1	●文章を読み、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせ、自分の考えをもつ。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。
わたしを束ねないで	1	●詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、未来に向けて自分の可能性について考える。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
三年間の歩みを振り返ろう/冊子にまとめて、発表会をする	5	●三年間の学びを振り返り、自分にとっての学びを総括するテーマを考える。 ●自分にとっての学びを総括するテーマを基に、冊子の内容や構成を考える。 ●集めた資料を整理し、テーマに基づいて冊子を作成する。 ●冊子の内容と関連させて自分の学びについて改めて考え、編集後記を加えて完成させる。 ●他の生徒の発表を聞き、学びについての考えをさらに深める。	話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
初日/漢字に親しもう5	2	●詩を朗読し言葉や表現上の特徴などから、詩のイメージを捉える。 ●詩の言葉や表現から情景や作者の思いを考え、話し合う。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。
国語の力試し	3	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。